



# 本当にあった怖い話

症例で  
学ぶ

## 呼吸・循環アセスメント50

講座コード R-22

～急変を防ぎ、離床を成功させる究極の評価～

開催日：2026年 2月28日(土) 10:00～16:10

難易度  
★★★★☆

会場：インターネット生ライブ中継 見逃し受講期間 2週間あり

講師：曷川 元 先生 (日本離床研究会 学術研究部)

対象：看護師・PT・OT・ST (左記以外も受講可) ※先着順：定員になり次第締切り

受講料：会員 9,800円 一般 12,800円 (税込)

今、会員になると  
年会費 4,900円が無料  
実質 7,900円 割引!

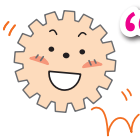


### 急変・悪化したらどうしよう・・・

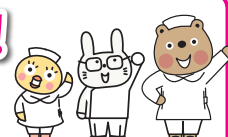


### そんな不安を吹き飛ばすとおきの手段とは？

1つひとつのパラメータの意味はなんとなくわかるけど、離床するとなると急変がコワくて・・・そんな悩みはありませんか？ そんなあなたへの特効薬は、実際の症例で学ぶこと。厳選された50の症例で、現場と同じ状況のアセスメントを経験すれば、“活きた知識”が身につくので、不安が解消すること間違いなし！ さあ、あなたもベテランが経験した“離床がうまくいかなかった症例”“急変寸前で気づいた症例”を学んで、アセスメント名人になってみませんか？



### “教科書だけ”の知識を“活きた知識”にする！ 50の症例で学ぶアセスメント成功術！！



Lesson

01

#### ここがチェックポイント！呼吸・循環パラメータがこう変化したら危険だ！！

臨床でパラメータを読むためには、その変化について知るのが一番。

すぐにドクターコールすべき異常か、ちょっと様子をみて良い異常か、すぐに判断できるセラピストを育成！

やってみよう！こんな場合は異常？

Head Upしたら収縮期血圧が130mmHgから100mmHgに低下！

胸痛を伴ってSpO<sub>2</sub>88%に低下、呼吸音は正常

人工呼吸器を装着したらPaCO<sub>2</sub>が50torrに！



このコマで取り上げるパラメータ

血液データ / 心電図 / 血液ガスデータ /  
フィジカルアセスメント

Lesson

02

#### こんな場合は離床してはイケナイ！疾患別にみるデータ解釈のポイント

この患者さん、離床は許可されているけれど、こんなデータで大丈夫？

そんな悩みを解決するため、離床してはダメな場合をまとめて解説！

これを知っていればビクビクしないで大丈夫！！

- ・肺炎
- ・誤嚥性肺炎
- ・術後患者
- ・心不全増悪
- ・COPD急性増悪
- ・心筋梗塞後
- ・不整脈患者
- ・脳血管疾患合併例 ほか



Lesson

03

#### こんな症例は急変する！見逃してはならない急変の前兆と発見時の初期対応

急変は偶然起こるものではなく、必ず起こる前に前兆があります。

「ここだけは！」というアセスメントポイントを徹底解説！もし急変した時の対応もバッチリ学習！！

呼吸困難を訴えている！

胸痛を訴えている！

投薬で明らかに様子が変わった！

人工呼吸器装着中になにかおかしい！

意識レベルが低下した！

体位変換したら呼吸がおかしい！ ほか



※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

受講方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索



お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！  
日本離床学会

